

教科目名 米文学特論Ⅱ (American Literature Ⅱ)

学科名・学年 : 全専攻1年

単位数など : 選択 2単位 (後期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教官 : 大木正明

授業の概要		
米文学特論Ⅰに引き続き、1人の国際人として、かつ1人の人間として、個人のあり方を改めて深く探るための講義である。米文学特論Ⅱについては、半期という短い期間ではあるが、聖書を源流とするアメリカの文学を6人の代表的な作家で区分分けし、アメリカ文学の基本的な概要を知ると共に、米文学特論Ⅰと同様、集団と個人といった視点を軸に、それぞれの作品の中で取り上げることの出来る問題を論じていく。英語の勉強は勿論のこと、人間の存在のあり方そのものを、アメリカの文学者、そしてその作品をとおして見つめなおす。		
到達目標		大分高専目標(A1), JABEE 目標(a)
(1) これまでに学んだ英語の4技能を、もう一歩進めたレベルに引き上げる。 (2) 各講義で取りあげられるテーマについて知見を深め、人間存在の深さを理解する。 (3) 西欧文化の源流を知り、日本独特の文化を意識すると同時に、国際的な視野の必要性を感じ取る。 (4) 各回ごとの講義の理解はもちろんのこと、継続的な自学学習の大切さを知る。		
回	授 業 項 目	内 容
1	宗教	宗教についての全体的な解説
2	聖書(1)	聖書の概略的な解説, 特に旧約聖書について
3	聖書(2)	聖書の概略的な解説, 特に新約聖書について
4	ナサニエル・ホーソーン(1)	アメリカ作家N.ホーソーンについて
5	ナサニエル・ホーソーン(2)	代表作『緋文字』について
6	ハーマン・メルヴィル(1)	アメリカの作家H.メルヴィルについて
7	ハーマン・メルヴィル(2)	代表作『白鯨』について
8	マーク・トウェイン(1)	アメリカの作家M.トウェインについて
9	マーク・トウェイン(2)	代表作『ハックルベリー・フィンの冒険』について
10	アーネスト・ヘミングウェイ(1)	アメリカの作家E.ヘミングウェイについて
11	アーネスト・ヘミングウェイ(2)	代表作『老人と海』について
12	J. D. サリンジャーについて(1)	アメリカの作家J.D.サリンジャーについて
13	J. D. サリンジャーについて(2)	代表作『ライ麦畑で捕まえて』について
14	ポール・オースターについて(1)	アメリカの作家P.オースターについて
15	ポール・オースターについて(2)	代表作『シティ・オブ・グラス』について
履 修 上 の 注 意	米文学特論Ⅰと同様、心理学や哲学、あるいは社会学といった人間そのものの考察や人間同士の関係といった問題を取り扱うことになるので、そのことをしっかりと念頭において受講すること。また、英文そのものの勉強と同様、文化にも重点を置いて講義を進めていくので、各回ごとの予習を必ずしておくこと。英語の辞書は常に携帯しておくこと。米文学特論Ⅰと同様、実力をつけるため適宜課題を出し、レポートを提出してもらった場合があるので、それなりの「やる気」と「忍耐力」といった心の準備をして受講すること。最終的にはレポートによって評価を下すことになるが締め切りに間に合わないものは受け付けないので注意しておくこと。	
教 科 書	Peter B. High, <u>An Outline of American Literature</u> , Longman.	
参 考 図 書		
関 連 科 目	米文学特論Ⅰ／哲学特論Ⅰ・Ⅱ	
評 価 方 法	最終成績＝期末レポート100%(100点)	